



『癸卯』躍動的な一年に

▼17日間の冬休みが終わり、10日(火)3学期の始業式が行われました。年明け以降、山梨県を含め、全国で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、インフルエンザとのダブル感染も危惧しているところです。3学期のスタートとなる始業式では、次のような話をしました。



▼新年あけましておめでとうございます。本日より三学期が始まります。皆さん一人一人が、新しい年、新しい学期を迎え、「よし、がんばるぞ」という気持ちでこの場に臨んでいることと思います。▼今年2023年の干支は卯(う)年。正しくは「癸(みずのと)卯(う)」です。干支は十干と十二支の組み合わせで、甲子(きのえね)から始まり全部で60通りある中の40番目の年回りになります。ちなみに、校長先生は60年前の「癸卯」の年に生まれましたので、今年は干支が一回りし「還暦」を迎えることとなります。▼「癸卯」の年は「これまでの努力が花開き、実り始める」といった縁起のよい年だそうです。▼一方、新型コロナウイルスも3年目を迎えます。「石の上にも3年」と言いますが、今年は治療薬の開発などにより、災厄を乗り越え、反転攻勢に出る年としたいものです。▼さて、皆さんは新年を迎えるにあたって、様々な目標を掲げたことと思います。昨年度の始業式で、校長先生が物事を進めるうえで大切にしていることをお話しました。2.3年生は覚えているでしょうか？それは「段取り八部、仕事二部」という言葉です。つまり、「何事も準備が大切で、仕事の善し悪しや成功するか失敗するかは、段取り(準備)で決まる」ということです。▼今年は、別の視点から、人との関わりにおいて大切にしていること、それは「誠実さ」です。誰に対しても誠実な対応、すなわち真心をもって行動することが何より大切であり、大切にしたいと思っています。▼とは言え、なかなか、そのようにはいかず、反省の毎日です。しかし「志」を高く掲げ、日々の

生活を送ることは大切なことだと思います。▼是非皆さんも、新年の誓いを忘れずに、この一年が「癸卯」にふさわしい躍動的な年となるようがんばって欲しいと思います。▼結びに、本校では、今後もSDGsの理念に基づき、「誰一人取り残さない学校づくり」すなわち「一人一人が大切にされる学校づくり」を目指したいと考えます。その一環で、ユニバーサル制服の導入に向けても、計画的に推し進めていきます。▼生徒の皆さんも、人との関わりを大切にし、有意義な学校生活を送って欲しいと考えます。

▼続いて、各学年、生徒会本部の代表者からも力強い新年の抱負が述べられました。その一部を紹介します。



◆1年代表 一瀬悠矢さん

私たち一学年は、これまでの取組により、提出物や行事に向かう意識が高まりました。3学期は課題であるチャイム席や家庭学習の充実に取り組むとともに、学年の長所をさらに伸ばしていきたいです。

◆2年代表 村松沙優さん

私たちは3か月後に市川中のリーダーとなります。リーダーに必要な力として「自ら進んで行動する力」と「周りを見て他人のことを感える力」が大切だと考えます。あらゆる場面で最高学年になる準備をしていきたいです。

◆3年代表 石原澤未さん

受験は団体戦、学年全員が合格できるよう受験に向けての雰囲気をつくっていききたい。3学期は仲間との思い出をつくる最後の学期、最上級生として後輩の手本となり、悔いのない3年間と言えるように過ごしていきたい。

◆生徒会代表 伴野朱香さん

3学期はまとめの学期、生徒会でも総会において今年度の振り返りを行い、成果と課題を確認し、来年度に引き継ぎます。これからの市中をより良いものために、生徒一人一人の意見は必要不可欠、積極的な参加をお願いします